

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)グランアッシュ高井田駅前	階数	地上12F
建設地	東大阪市川俣1丁目5番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	221 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2014年11月10日
敷地面積	982 m ²	作成者	株式会社松尾建築設計事務所 松尾行偉
建築面積	497 m ²	確認日	2014年11月10日
延床面積	4,345 m ²	確認者	株式会社松尾設計 尾下裕亮



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	74%
③上記+②以外の	74%
④上記+	74%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	居住者の快適な生活環境を維持する為、遮音性や断熱性を高めた。環境への配慮として、省エネルギー性を高めた建物とした。また周辺地域への配慮としてできる限りの緑化を計画した。	その他 0
Q1 室内環境	隣戸間における生活騒音の配慮として、床・壁遮音性を高めている。 住居部分に大開口の窓を設け昼光利用に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境との共有空間をつくり出す工夫をし、アスファルト舗装面をできる限り少なくし、緑地部分を確保している。
Q2 サービス性能	情報通信社会に対応し、ゆとりある生活を確保できるよう、大容量ブロードバンドを設けている。設備に関し将来にわたり維持管理ができるよう努めている。	LR3 敷地外環境 周辺環境に配慮し、適切な量の自転車置場・駐車スペースを確保している。 また、十分な廃棄物保管スペース、分別回収容器を設け、ゴミの分別にも取り組んでいる。
LR1 エネルギー	住戸内の断熱性を高めて熱負荷の抑制に配慮している。 高性能設備機器を採用し、省エネルギーに努めている。	
LR2 資源・マテリアル	利用できる範囲でリサイクル材料を使用し、分別しやすいように配慮している。 また、ODP=0かつGWPが低い発泡剤を用いた断熱材を使用し環境にやさしい資源を積極提起取り入れている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)グランアッシュ高井田駅前		
	建設地	東大阪市川俣1丁目5番		
	用途/区分	集合住宅		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			4
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			対象外

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 住戸・宿泊 3.0	3
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.9	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	—	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	2.2	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他				
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項	
特に配慮した事項				